

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則・競技会における広告および展示物に関する規定および競技注意事項により行う。

2 招集について（招集場所は、各々の競技開始場所で行うので注意する）

(1) 招集の方法については、次の通りである。

- ① 第1コールは、不参加および欠場がある場合のみ、所属団体別に代表者が各種目の競技開始1時間前までに情報処理室（110号室）に届けること。
- ② 招集開始時刻には競技者本人が各競技開始場所に待機しアスリートビブスを見せ確認を受ける。代理人による招集は認めない。ただし、2種目を同時に出場する競技者はあらかじめ情報処理室（110号室）に申し出る。招集完了時刻に遅れた競技者は棄権とみなす。
- ③ 携帯電話や通信機器、音楽再生機器および撮影機器等を所持または使用することはできない（競技規則 144条3(b)。招集所や競技場所でこれらのことが明らかになった場合は、主催者で預かり、競技終了後返却する。

3 練習について

補助競技場、室内練習場および投擲競技場で行う。特に投擲練習については、監督の付き添いのもと危険防止に努めること。室内練習場およびその周辺にはシート等を敷くなどして占有しないこと。本競技場での練習は、8時30分までとする。

4 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、今年度の登録番号を着けること。
- (2) 着用については、競技規則第143条7・8を遵守すること。
- (3)トラック競技（800m以上）に出場する競技者は、写真判定用の腰ナンバー標識を係より受け取り、腰部のやや後方の両サイド取り着ける。

5 競技の抽選ならびに番組編成について

トラック競技はすべてタイムレース予選・決勝とする。決勝については、主催者がルールに則り組み合わせ、レーン順を決定する。フィールド競技の決勝については、3回の試技で上位8人を選出し、記録した成績の低い順に、後3回の試技をする。

7 競技及び競技方法について

(1) トラック競技について

- ① トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。同記録の場合は第167条2を適用し抽選とする。
- ② トラック競技の決勝のレーン順は本部で抽選により決定し、3階に掲示する。
- ③ トラック競技の中長距離種目で1500m・3000mSC以外は2段階のグループスタートで実施する。
- ④ 不正スタートについては、1回で失格とする。

(2) フィールド競技について

- ① 投てき種目の計測は、砲丸投を除いて科学測定器を使用する。
- ② フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員に指示に従う。
- ③ 跳躍種目及び投てき種目のやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカー（2個まで）を置くことができる。砲丸投・円盤投・ハンマー投については、サークル直後に主催者が用意したマーカー（1個）を置くことができる。競技者は勝手に競技場を離れることはできない。
- ④ 棒高跳の競技者は、自分が希望する最初に試技する高さで支柱の位置を所定の「棒高跳支柱移動届」に記入し、現地で競技役員に提出すること。用紙は3階TICで受け取る。
- ⑤ 三段跳の踏切板は、砂場から11mの地点に設置する。女子は、10mおよび8m地点とし競技役員に指示に従うこと。
- ⑥ 走幅跳、三段跳は跳躍審判長判断で2ピットで行うこともある。

8 助力について（競技規則第144条）

- (1) 競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出なければならない。
- (2) 携帯電話や通信機器、音楽再生機器および撮影機等を所持または使用することはできない。

9 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

- (1) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまでは次の通りとする。（ただし、天候等の状況により審判長判断で変更することもある。）

種 目	練習	1	2	3	4	5	6	7	
男子走高跳	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	1.90	1.95	以後3cm
女子走高跳	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.58			以後3cm
棒高跳	3.30 3.50	3.50	3.60	3.70	3.80	3.90			以後5cm

女子の棒高跳びの高さについては、競技役員に指示に従うこと。

10 リレー競技について

- (1) リレー競走に出場するチームは、所定の「リレーオーダー用紙」に記入し、各チームの代表者が情報処理室（110号室）に提出すること。なお、締切時刻は、招集完了時刻の1時間前までとする。また、決勝においても、予選に準じて提出すること。用紙は3階TICからもらうこと。
- (2) リレー競走において使用するマーカーは各チームで用意する。除去についても使用したチームが必ず行うこと。
- (3) リレーのオーダー用紙提出後の変更は認めない。提出後、けが等変更をする場合は医師・医務員の証明が必要である。その場合「リレー変更届」を医務室で発行してもらうこと。

11 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表は電光掲示板で行う。コロナ対策により密集を避けるため印刷物での掲示はしない。
- (2) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、競技規則 146 条に定められている時間内（同一日に次のラウンドが行われる競技では 15 分以内）に、担当総務員を通じて審判長に口頭で行い、別室（115号室）で待機する。

12 競技用具について

棒高跳用ポール以外、競技に使用する用具は主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、やり・円盤・ハンマーに関しては、当日検査の上使用を認める。希望者は競技開始時刻 70 分前に第 2 コーナーの用器具倉庫で検査を行い合格した用具は、一括借り上げし参加競技者間で共有できるものとし、競技終了後に返却する。すべての用具は、競技終了後消毒作業を行うこと。

13 競技用靴について

スパイクピンの長さは 9 mm 以内、走高跳・やり投は 12 mm 以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は 11 本以内とする。（競技規則 143 条 3・4・5）

14 衣服運搬について

衣服運搬は行わない。各自でビニール袋等の準備をしてください。

15 表彰について

表彰は行わず、最優秀賞には「戸上第一郎杯」短距離優秀賞には「田尻祐之杯」中長距離優秀賞には「金栗四三杯」、跳躍優秀賞には「戸上研之杯」男子投てき優秀賞には「西田 親杯」女子投てき優秀賞には「林香代子杯」高校生男子優秀賞には「中島桂介杯」高校生女子優秀賞には「富永勝美杯」を授与する。

16 商標について

衣類の広告に関する規定については、「競技会における広告及び展示物に関する規定」に従い、違反者に対しては、主催者において処置する。尚、競技役員、補助役員も適応される。

17 一般注意事項

- (1) 新型コロナウイルス対策については、日本陸上競技連盟のガイドラインおよび熊本陸上競技協会のガイドラインに沿って実施するので HP をご覧ください。
- (2) エレベーターの使用については、競技運営上支障が生じるので競技役員以外の使用は 1 階右側のみとする。また、7 階のトイレ使用は 7 階の競技役員のみとし一般の使用は禁止する。
- (3) 競技者以外、トラック周囲への立ち入りは禁止する。
- (4) 応急手当を要する場合、及びその他の健康上の問題が生じた場合は競技役員に申し出て、医務室を利用することができる。
- (5) 競技場内での疾病、傷害については応急手当のみを行い、以後、各参加校の責任において処置すること。
- (6) 記録の証明を希望する競技者は、庶務係の受付に用意した記録証交付願いに、500 円を添えて申込み、後日郵送する。
- (7) 競技場内での写真撮影は、大会本部の許可を受けること。（報道カメラマンのみ許可する）
- (8) すべての応援はスタンドで行うこと。また、スタンドにおける集団は禁止する。
- (9) 個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。
 - ① 大会プログラム掲載
 - ② 電光掲示板・掲示板等への掲載
 - ③ 競技結果の報道機関・報告書等への掲載
 - ④ 新記録や優勝結果等の大会プログラム（次年度以降）への掲載
 - ⑤ 報道機関が撮影した写真・映像の公開